

各 位

2025 年 6 月 30 日
大原薬品工業株式会社

JIC ベンチャー・グロース・ファンド 2 号投資事業有限責任組合による増資について

大原薬品工業株式会社（代表取締役 CEO：大原誠司、以下「当社」）は、JIC ベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社の運用する JIC ベンチャー・グロース・ファンド 2 号投資事業有限責任組合（以下「VGI」）による出資払込を受け、増資による資金調達を完了いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 増資の概要と資金使途

今回の第三者割当増資によって調達した資金は、小児がん治療薬、パーキンソン病治療薬等の開発資金に充当されるほか、新規の開発パイプラインの取得・開発に活用する予定です。資金調達によって、オーファンドラッグを中心とした新薬開発のパイプライン拡充を加速すると共に、ペイシエントファースト（患者様本位）のジェネリック医薬品開発を推進し、アンメットメディカルニーズの解消と経済的持続性の両面から日本の医療に貢献したいと考えています。

また、財務基盤の強化によって、新薬開発へのリスク耐性を高めて資金調達力を一段と強化すると共に、グローバル開発の加速を志向したキャリア採用の促進や研究開発組織の拡充を通じて会社の基盤強化を図ります。

2. 当社の事業構成とこれからの展望

当社は、患者様とそれを支える医療従事者の方々のために、グローバルな視点からアンメットメディカルニーズに取り組み、医薬品を含む新しい治療方法を提供することによりイノベーションに挑んで参ります。

医療現場で必要とされている願いと、技術革新のイノベーションをつなげる事を重視しています。小児がん、血液がん、胆道がん、神経変性疾患などを重点領域として、グローバルなネットワークを活用してアンメットメディカルニーズの高い新薬開発に取り組むと共に、信頼性の高いジェネリック医薬品等の安定供給を通じて日本の医療に貢献したいと考えています。

我が国の小児用医薬品では、欧米にも増してドラッグラグやドラッグロスが深刻な社会問題となっています。当社は、医療現場のニーズに基づいて小児用医薬品のパイプラインの拡充を図ると共に、ドラッグラグ等の解消に向けて小児がんをはじめとするオーファンドラッグの開発に取り組んでいます。

また、患者様と医療従事者の方々から必要とされる、ジェネリック医薬品や先発医薬品の提供は当社のもう一つのミッションです。ペイシエントファーストの視点から医療ニーズの強い、高信頼の医薬品を安定的に供給し、日本の医療の持続的な発展に寄与していきます。

当社は、高齢化の進展によって社会的な重要性を増している神経変性疾患を中心に自社創薬に取り組んでいます。グローバルな臨床研究に基づいた開発体制を展開し、難病とされる神

経変性疾患の治療薬開発に取り組みたいと考えています。

さらに、当社は、アフリカをはじめとする新興国において、医薬品製造やヘルスケアサービスに携わる現地企業と共に成長を続けております。アフリカにおける、最新のイノベーションを活用した UNAIDS30 プログラムなどを支えることで、グローバルな感染症対策に貢献していきます。

3. JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社について

VGI は、政府の産業政策に沿って、ベンチャー・グロース投資活動によりイノベーションを促進し、国際競争力の向上によって日本の産業及び社会課題の解決を目指すことを目的とする投資運用会社です。産業変革を促す新技術や新規事業等の発掘及び支援を通じて、イノベーションを加速し社会及び産業課題の解決を促進することを重視しています。

4. JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社 中屋玲生氏のコメント

本投資の意義は、大原薬品工業のグローバルな新薬事業の成長を通じて、希少疾患をはじめとする患者さんのアンメットメディカルニーズの解消、ドラッグラグ・ドラッグロスといった日本の社会課題の解決を目指す点にあります。加えて、これまで資本市場にアクセスしなかった非上場・中堅企業に事業転換のための成長資金を供給し、地域発の有力企業の成長支援に資する、といった投資意義も認められます。弊社は、大原薬品工業の医薬品開発を引き続き支援し、アンメットメディカルニーズの解消を通じてグローバルな医療の課題解決、ひいては日本の医療制度の持続可能性に貢献してまいります。

<参考>

大原薬品工業株式会社について

会社名：大原薬品工業株式会社 / Ohara Pharmaceutical Co., Ltd.

所在地：日本、滋賀県甲賀市

代表者：代表取締役 CEO 大原 誠司

設立：1964年11月

URL：<https://www.ohara-ch.co.jp/>

事業内容：オーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）とジェネリック医薬品の開発と製造を事業の柱とする製薬企業。

「すべては患者さんの立場から 医療の未来のために 信頼の医薬品を」ミッションとしてイノベーションに取り組み、アンメットメディカルニーズの解消と日本の医療制度の持続可能性に寄与することを目指しています。

◆本件に対するお問い合わせ先◆

大原薬品工業株式会社

担当：井用（いよう）、河井（かわい）

TEL：03-6740-7701 FAX：03-6740-7702